

Hassojitz

総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち



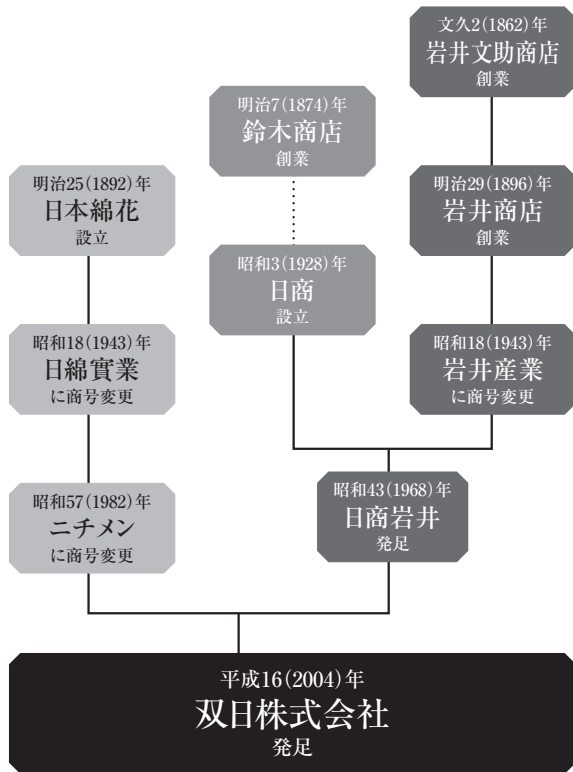
第5巻

暗雲



双日株式会社

双日の系譜



本作品は、可能な限り史実に基づいて作成していますが、構成上、マンガ特有の表現、描写を用いている部分があります。
また、登場人物の台詞は、基本的に各史料から引用していますが、一部推測により作成しています。

当初

短期間で終結すると予想された
第一次世界大戦は長期化
産業革命が進行していた日本に
大量の注文が流れ込み
日本の産業界は
大躍進のきっかけを掴む

鈴木商店の
高畑誠一ロンドン支店長は
大英帝国相手に強気のビジネスを挑み
皇帝を商人にしたような男と恐れられ
スエズ運河を通る船の一角は
鈴木店の貨物を積んでいると言われた

金子直吉は
天下三分の宣誓書とよばれる
手紙をロンドン支店に送り
高らかに鈴木店の絶頂を宣言する
そして鈴木商店は
大正六(一九一七)年に
財閥を凌ぎ貿易年商で
日本一の総合商社に上りつめる

日本綿花の喜多又蔵は
世界一の紡績大国・英国が
戦場となったことを受け
世界の工場とよばれた
英国の輸出市場を奪うため
社員を鼓舞
世界中から綿花を調達し
綿糸・綿布の輸出を大量に行い
「綿花界のナポレオン」と
賞賛される

岩井商店は
工業化に必要なソーダ
(アルカリ)の国産化を目指し
日本曹達工業
(現・トクヤマ)を設立
海外に依存していた
ペイントの国産化を目指し
関西ペイントを設立する



米国の第二次世界大戦の参戦、ロシア革命を以て米騒動が起きるなかで鈴木商店を困難と悲劇が襲う

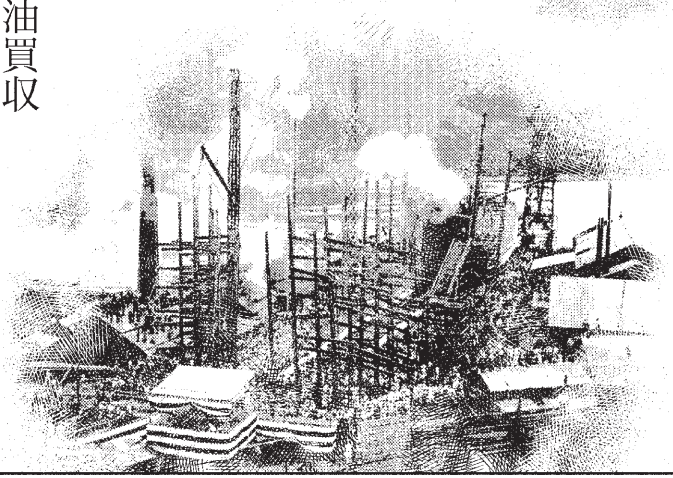
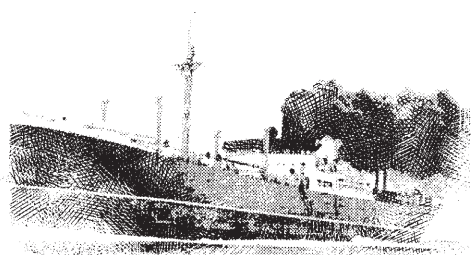
そして第二次世界大戦が終結し、パリ講和会議が開かれ、大戦不況が世界経済に停滞をもたらそうとしていた

そんななか、双日の源流の三社は、より産業界でのプレゼンスをあげ、産業界を背負い、国家を動かしていく

発想 × sojitz

第1章

鈴木商店 船鉄交換契約と帝国石油買収
(後・昭和シエル石油、現・出光興産)

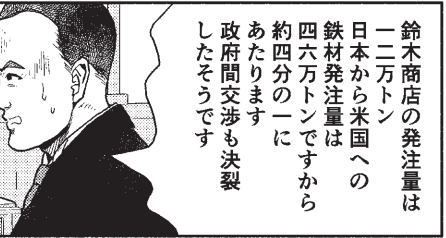
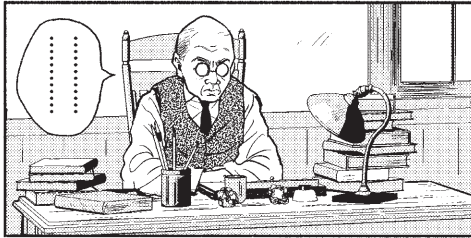




なにつ!
それじゃあ船が
造れないじゃないか
鉄飢饉で何万という
人が路頭に迷うぞ



大変ですっ金子さん
米国が大戦の影響で
鉄の輸出の禁止を
発表しました!



鈴木商店の発注量は
一二万トン
日本から米国への
鉄材発注量は
四六万トンですから
約四分の一に
あたります
政府間交渉も決裂
したそうです

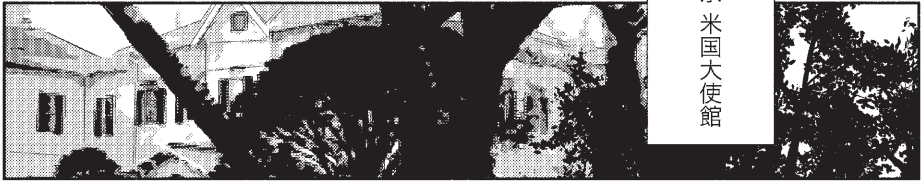


後藤新平さんに
紹介状を書いてもらつとけ
ロンドンの松方さんにも
助けてもらおう
そして造船業界の声を
纏めるんや!

あほうつ
国ができないことを
鈴木がやるんじや!



……わしが
なんとかする
東京に行くぞ
政府ができない
というのに……

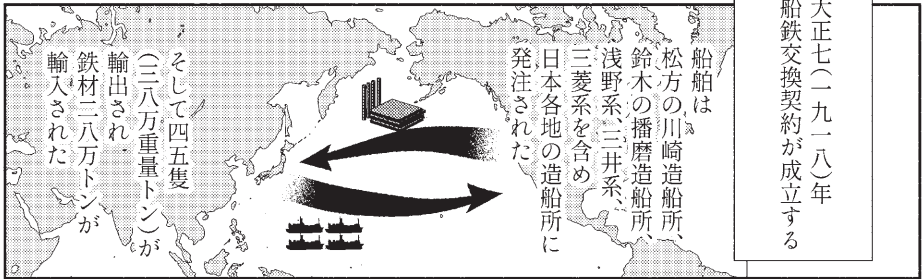


実は
交換比率も纏めてある
鉄材一トンに対し
船舶一重量トン
二次契約では
二重量トンで
どうじゃ



なんだと
……!!

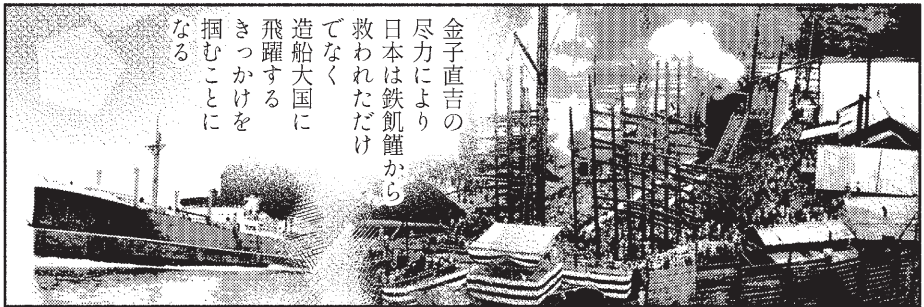
※ 重量トン：船舶が積載できる重量の限度を示して船舶の大きさを表現するもの



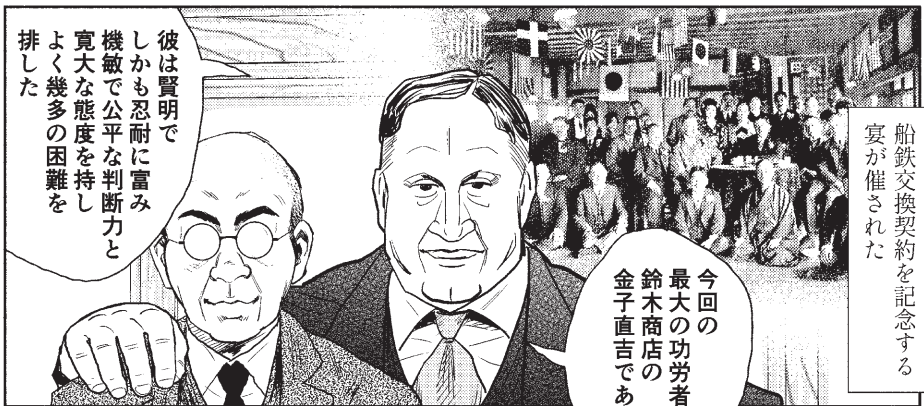
大正七（一九一八）年
船舶交換契約が成立する

船舶は
松方の川崎造船所、
鈴木播磨造船所、
浅野系、三井系、
三菱系を含め
日本各地の造船所に
発注された

そして四五隻
（二八万重量トン）が
輸出され、
鉄材二八万トンが
輸入された



金子直吉の
尽力により
日本は鉄飢饉から
救われただけ
でなく、
造船大国に
飛躍する
きっかけを
掴むことに
なる



翌年
神戸の常盤花壇にて
船舶交換契約を記念する
宴が催された

今回の
最大の功労者は
鈴木商店の
金子直吉である

彼は賢明で
しかも忍耐に富み
機敏で公平な判断力と
寛大な態度を持ち
よく幾多の困難を
排した



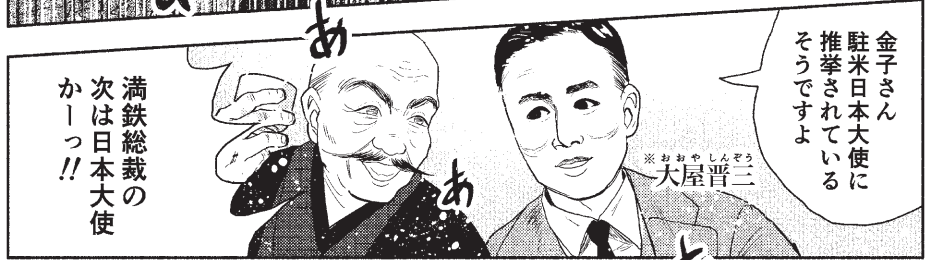
私は賞賛してやまない
 このような偉大な
 人物には一度も会った
 ことがない!!

おおおー!

あ

あ

あ



金子さん
 駐米日本大使に
 推挙されている
 そうですね

※おおよしんどう
 大屋晋三

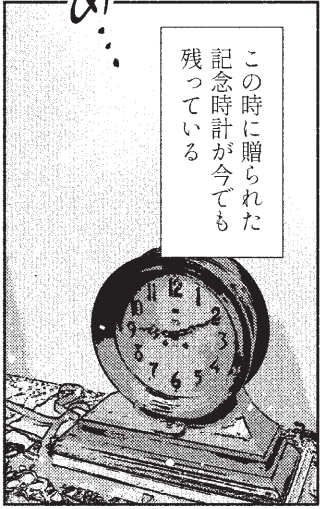
満鉄總裁の
 次は日本大使
 かーっ!!

※ 後・帝人社長、運輸大臣、大蔵大臣、商工大臣



一大快挙だったな

金子直吉は
 相変わらず
 精力的に動いていた



この時に贈られた
 記念時計が今でも
 残っている

後藤さんのおかげです
モリスとの交渉の際の
通訳は後藤さんが紹介
してくださったんですね

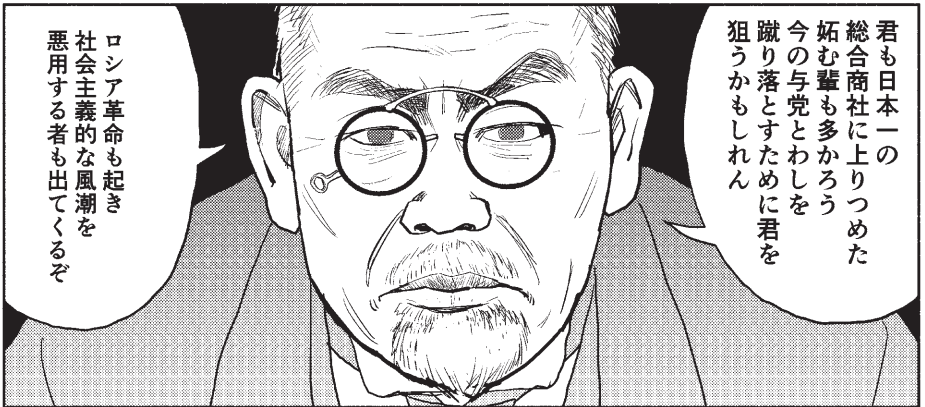


……
ところで金子君
世の中がきな臭い
気を付けたまえ



君も日本一の
総合商社に上りつめた
妬む輩も多からう
今の与党とわしを
蹴り落とすために君を
狙うかもしれん

ロシア革命も起き
社会主義的な風潮を
悪用する者も出てくるぞ



ははっ

私は日本を
豊かにするために
働いているだけです
美術品などまったく
興味がありませんし
私腹を肥やして
わけでもありません



最近は国民のために
何をしている？

昨年
豊作により
米価が暴落し
大隈重信さんに
頼まれて米価
安定のために
輸出しました

しかし今年は大凶作
今は輸入して
おるんですわ

鈴木には全国の米の作柄を
見極めるやつがいますてな
某新聞の米相場の情報はず
全部鈴木からなんですわ

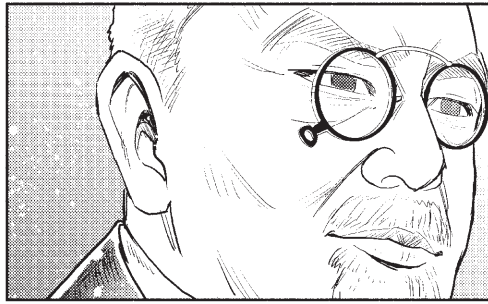
君の
ところの社長は
よね(米)さん
というくらい
だからなあ……

そのよねさんは
大忙しでして
この前
米沢まで行って
もらいました

米沢に？

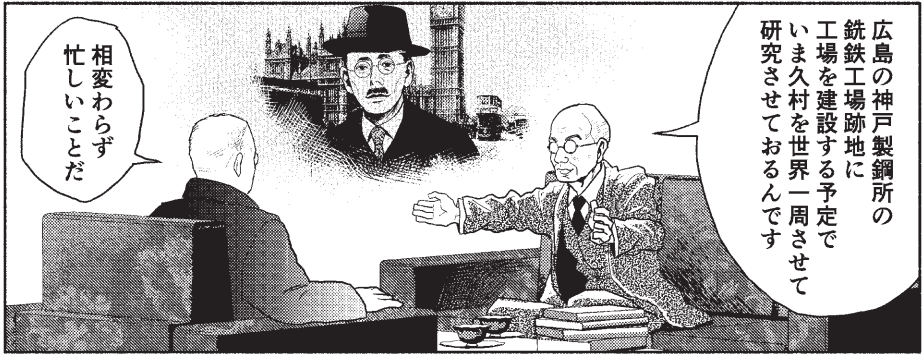
はいなかなか
うまくいかず今まで
ひっそりとやっていた
人造絹糸事業ですが

このたび堂々と
帝国人造絹糸
(現・帝人)として
独立させたんです



帝国、か……

世界を見ている
わけだな



広島
の神戸製鋼所の
銑鉄工場跡地に
工場を建設する予定で
いま久村を世界一周させて
研究させておるんです

相変わらず
忙しいことだ



それから

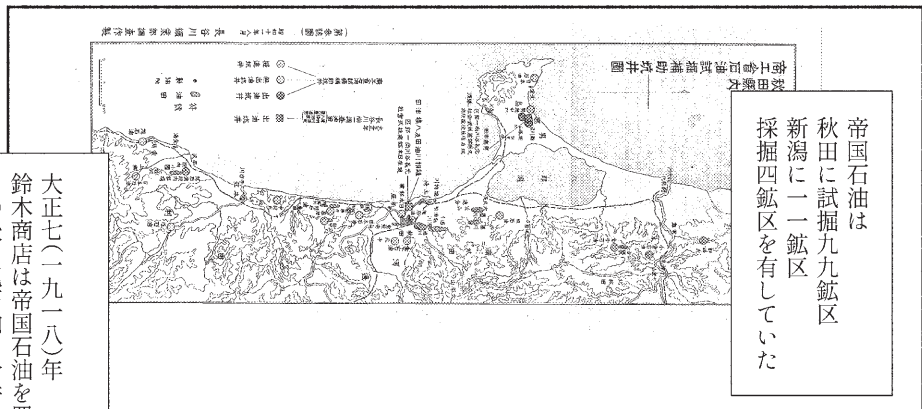
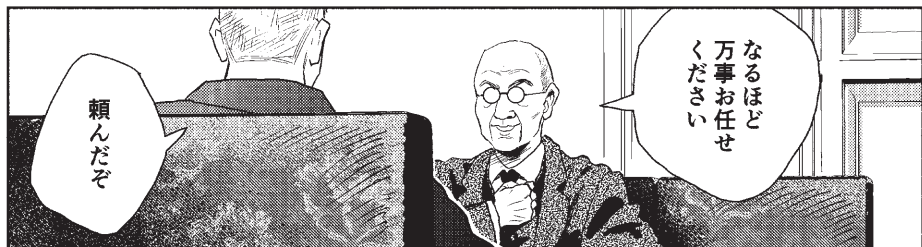
もうええ
煙突男の話は
尽きんからもう
……



九州では
地元財界と佐賀紡績
(後・大和紡績、現・ダイワ
ボウホールディングス)を
設立しました
大里製粉所の小麦用の袋を
製造してもらおうかと

ところが困ったことに
紡績機械を運んでいた
船がドイツ潜水艇に
撃沈され急速インドから
調達しましたわ……

※戦後、吉田内閣の経済顧問、産業復興公団総裁



松方さん 長崎くん
ワシはこの挑戦も
成功させるぞ！

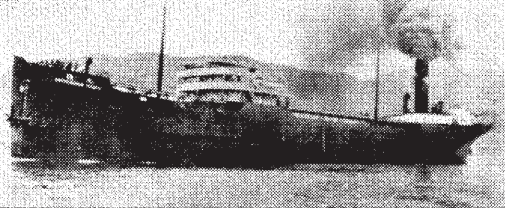
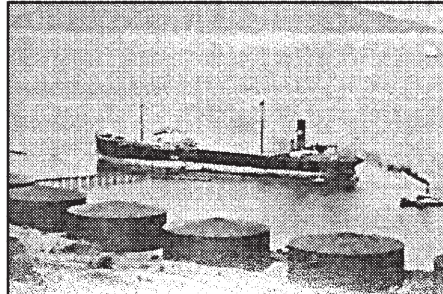
金子さんの
ことだから
いろいろと発想が
あるんでしょう？

なんでも
実現して
みせます！

新生旭石油として
松方幸次郎を社長に迎え
長崎英造は監査役となった



鈴木商店の参画以降
秋田県道川油田にて
日産八〇〇石の生産に
成功したのを皮切りに
事業は大展開する
山口県徳山の日本金属の
非鉄工場を閉鎖し
製油所に転換
ペルシヤから原油を
輸入して精製を開始
播磨造船所にて日本初の
民間大型タンカーを建造
自社タンカーで外油を
輸入したのは鈴木商店が
最初といわれている



鈴木商店は
満州から
欧州へ大豆油を
その後米国にて
鉱油を満載して
旭石油の
徳山製油所
他への輸送網を
構築した

なお長崎英造は
鈴木商店破綻後に
早山石油、新津石油との
三社合併を実現させ
昭和石油(後・昭和シェル石油、
現・出光興産)設立に尽力し
初代社長に就任する
ことになる

會社合併公告

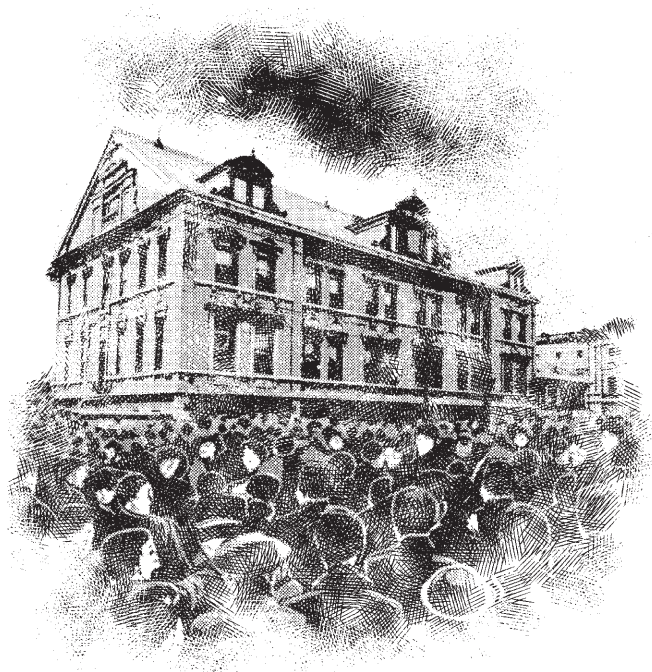
早山石油株式會社
旭石油株式會社
新津石油株式會社



第2章

鈴木商店

米騒動・本店焼き打ち事件



大正七（一九一八）年
米価が暴騰

一般市民の
生活を苦しめ
社会不安が
増大した

成り上がり者の
鈴木が日本一だと
……？
気にいらねえな

後藤新平と金子直吉
ロシア革命……
社会主義……
資本家と労働者階級
……そして米

「心得ぬ鈴木商店
敵国ドイツに米輸出」

心得ぬ鈴木商店
敵国ドイツに米輸出

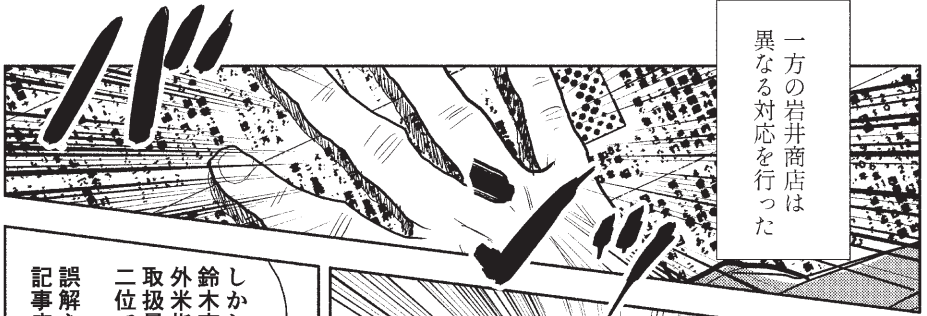
金子さんつ
どの記事も
嘘ばかりです
しっかり抗議
しましょう!!

ほっとけ
鈴木は何も
悪いこと
しとらん

鈴木商店は
外米指定商として
大量の外米を輸入し
米相場の安定に
力を尽くしていた

しかし
この米
では……

一方の岩井商店は
異なる対応を行った



ひどい記事だ
買い占めの疑いで
岩井の重役に
家宅捜査だと？



岩井商店は
投機など絶対に
しない

しかし我々も
鈴木商店と同じ
外米指定商
取扱量は三井に次ぐ
二位です
誤解を解くために新聞に
記事広告を出しましょう

法律顧問
今村力三郎



……わかった
やむをえない

急 告

弊社が外米指定商タリシ爲メ弊社及弊
社重役が家宅搜索ヲ受ケタルガ如キ新
聞記事有之候へ共右ハ全然無根ニ有
之甚ダ迷惑ヲ相感シ居候次第ニ付此段
爲念廣告仕候也

大正八年六月十九日 株式会社

岩井商店
岩井勝次郎

そして七月二二日
富山で米騒動がはじまる

騒動は全国に
飛び火していく
ことになる……

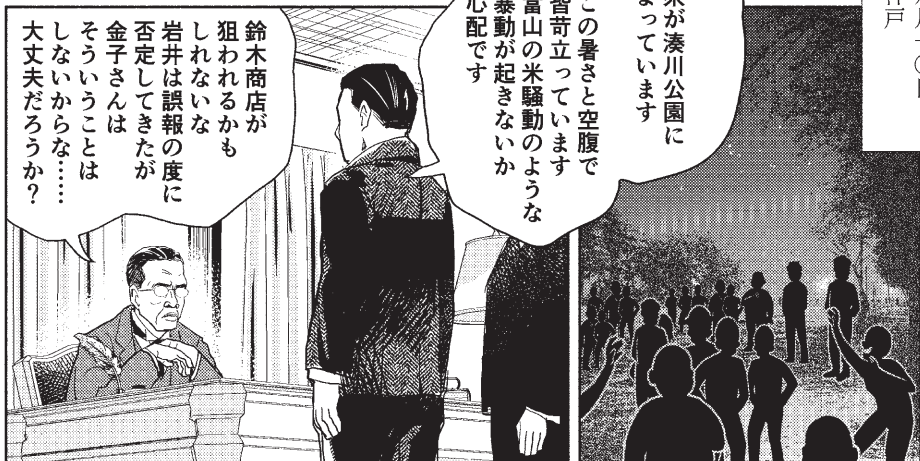


八月二〇日
神戸

群衆が湊川公園に
集まっています

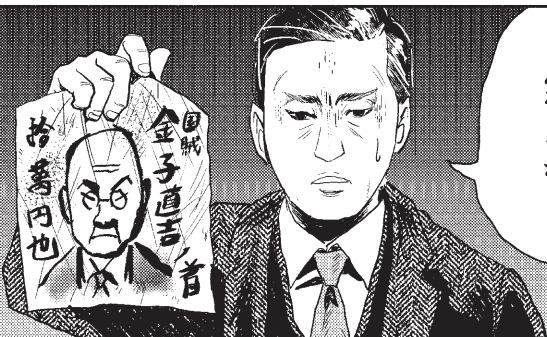
この暑さと空腹で
皆苛立っています
富山の米騒動のような
暴動が起きないか
心配です

鈴木商店が
狙われるかも
しれないな
岩井は誤報の度に
否定してきたが
金子さんは
そういうことは
しないからな……
大丈夫だろうか？



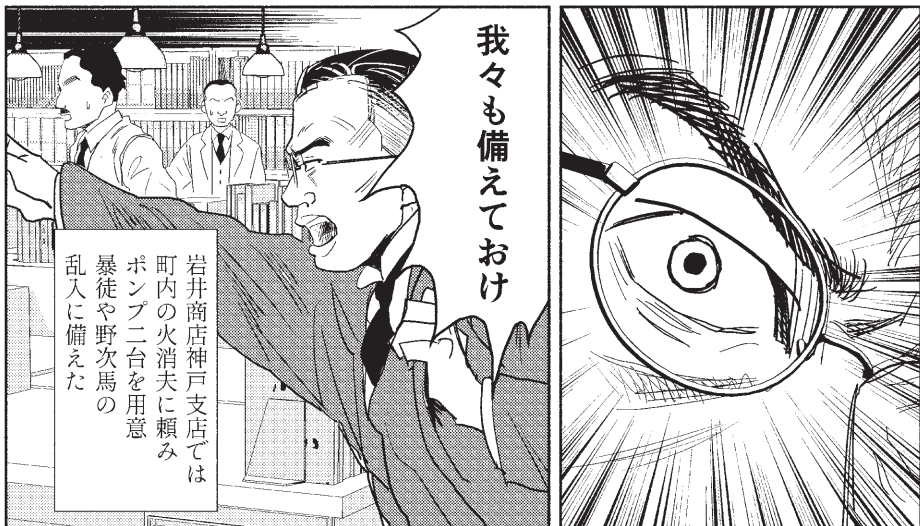
見てください
こんなビラが……

金子直吉の首に
一〇万円の賞金
ですって



我々も備えておけ

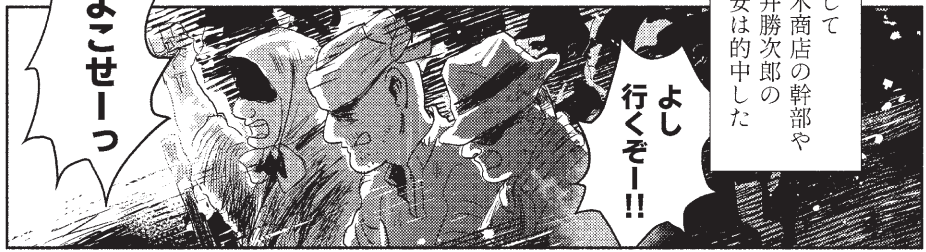
岩井商店神戸支店では
町内の火消夫に頼み
ポンプ二台を用意
暴徒や野次馬の
乱入に備えた



そして
鈴木商店の幹部や
岩井勝次郎の
不安は的中した

よし
行くぞー!!

米よこせーっ



群衆は湊川公園から
商店街を壊しながら進み
鈴木商店本店を包囲した

鈴木を倒せ!!

やっちまえ

悪いことをやって
いるに決まっている
でなきやあんなに
急に日本一にならん
だろう

そっじやーっ



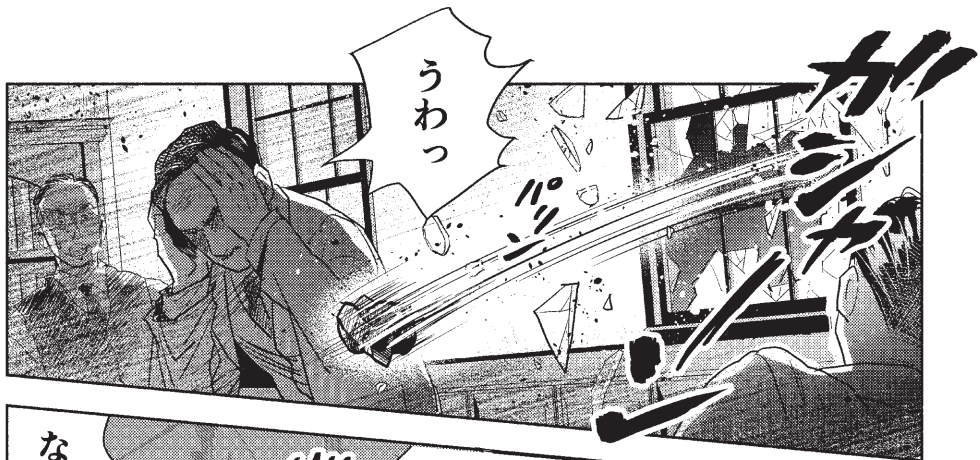
鈴木商店本店工務部

なんで
こんなことに……

鈴木は何も悪い
ことをしていない
我々工務部の皆も
日本各地に工場を
建設したりと
国民のために
働いてきた

本店工務部用度課長
矢野松三郎

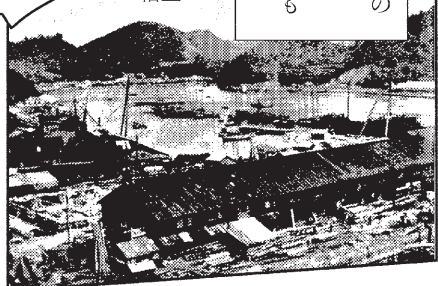




うわっ

急報は播磨造船所の
拡張工事を
請け負っている
大本百松のもとにも
伝わった

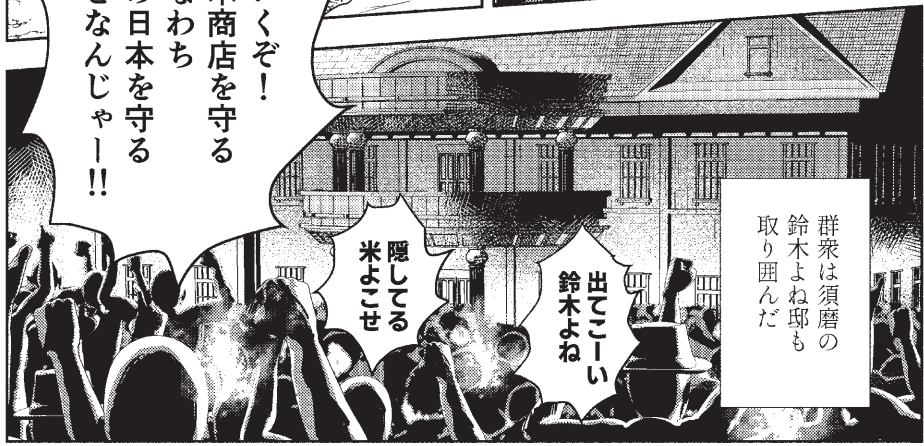
相生



なにいつ!!

百松さん大変です!
神戸で米騒動です
鈴木よね邸を守って
くれと……

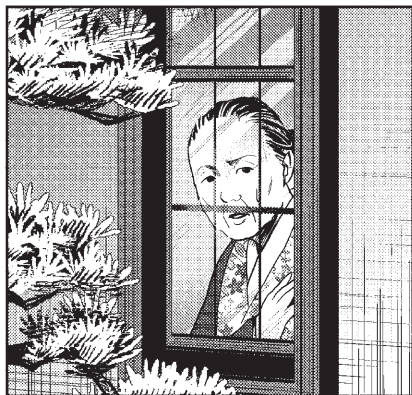
皆いぐぞ!
鈴木商店を守る
すなわち
この日本を守る
ことなんじゃー!!

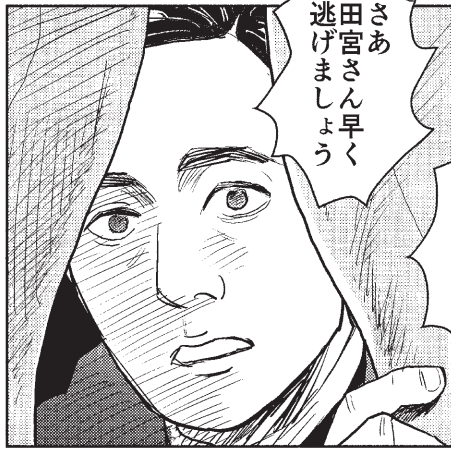


群衆は須磨の
鈴木よね邸も
取り囲んだ

出てこい
鈴木よね

隠してる
米よこせ





さあ
田宮さん早く
逃げましょう



おい
田宮さんの家の壁に
味噌を塗っておけ
昔から防火作用が
あると言われとる

わかりました！



あの炎はなんだ？



くっ
ばかやろう……！

……まさか
本店では……

暴徒化した群衆は襲撃、
略奪、放火に及び

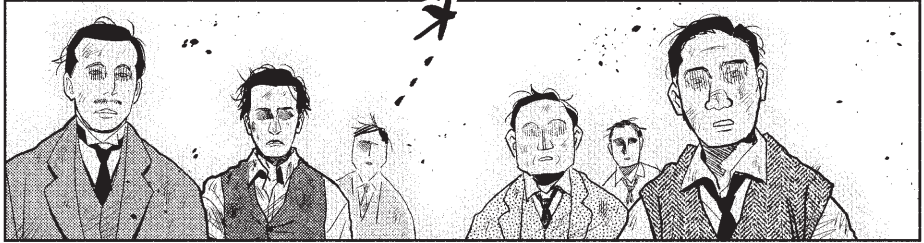
鈴木商店本店は
一日にして灰燼に帰した

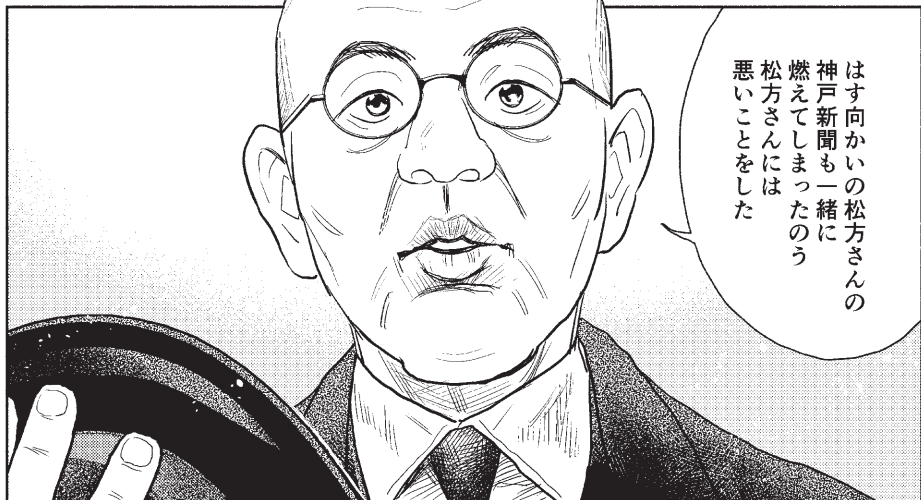
ほぼ同時期に
清水でも暴動が起き
鈴木商店製油所
清水工場にて
労働争議が起き
警察の仲介があつた

八月二二日
愛媛県宇和島の
日本酒類醸造

一連の騒動で鈴木商店は
関連施設でも
大きな被害を被った

鈴木商店の工場だ
燃やしてしまえ！
芋を焼酎にするな！！





はず向かいの松方さんの
神戸新聞も一緒に
燃えてしまったのう
松方さんには
悪いことをした



お
みんな無事か

金子
さん!!

金子さん

金子さん



気にするな
志と体があれば
なんでもできる!

この燃えかすは
神戸製鋼所の拡張の
ために埋め立てている
脇の浜に埋めよう



はいっ

しかし
鈴木商店本店
が……



そうは
言っても……

本店ならすぐに
再建するぞ
後藤回漕店の倉庫も
借りてきた今はそこで
鈴木商店の業務を行う
こんな事でへこたれて
たまるか

工務部の皆頼むぞ
鈴木の底力を
今こそ
みせるんじや!!



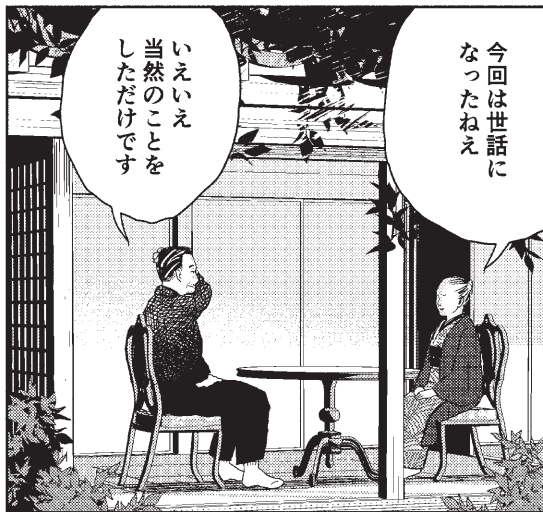
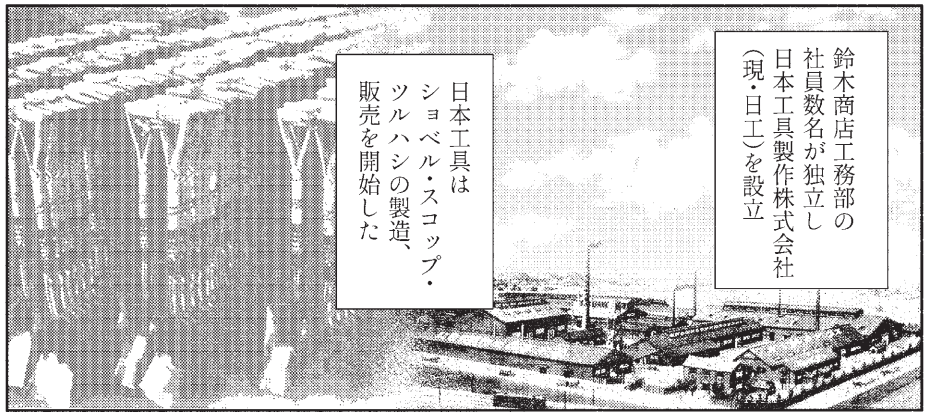
わかりました!

よっしゃあ

みせて
やりますよ



鈴木商店本店工務部は
昼夜を厭わぬ工事で
二週間後には仮社屋を
完成させた

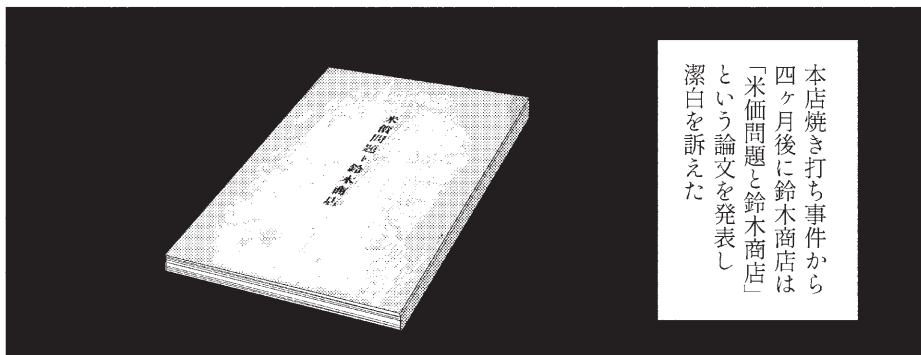
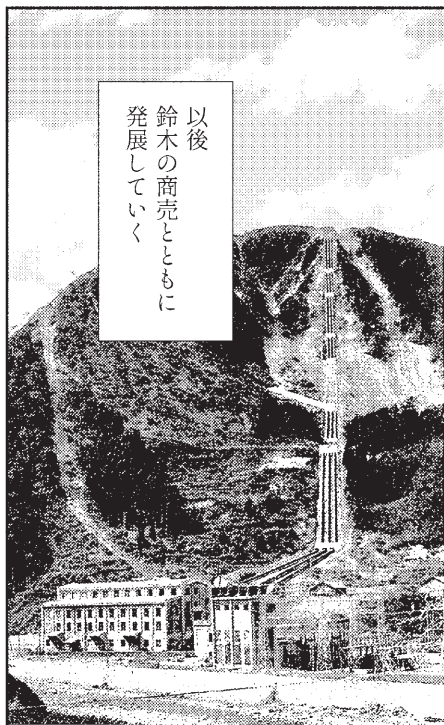


感謝したよねは
金一封を
渡そうとした

どうか
受け取って
おくれ

いえ
この大本百松
金で命は
売りません

しかし百松は
頑として受け取ら
なかったという



永井幸太郎
(日商創業者の一人)
が執筆したものと
いわれている



「鈴木商店は決して他を怨まず、
自らの不徳を責めて
益々国家社会のために貢献する」

鈴木商店を悲劇が
襲ったこの年
一月一日

日本の産業界と
双日の源流三社の
活況を支えた
第一次世界大戦は
終結した

反動不況がはじまり
猛烈なデフレが
日本を襲うことになる



そして米騒動での
心労がたたり

金子直吉の
補佐役であった
近代経営派の
西川文蔵(支配人)が
急死する
大正九(一九二〇)年の
ことであった

西川——っ!
おまんがいなければ
おまんがいなければ
……っ

この鈴木商店は
まとまらない!

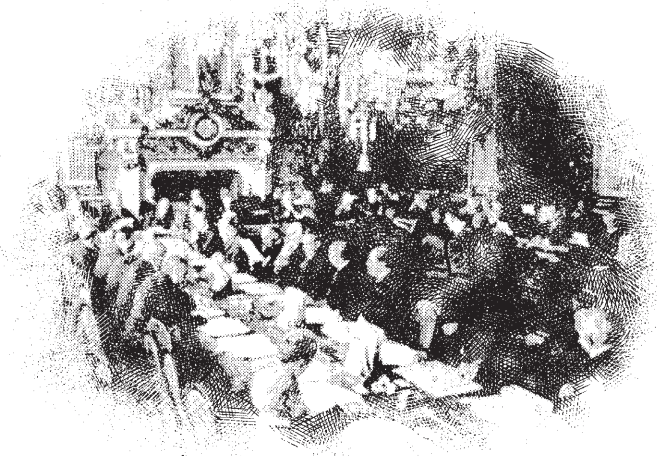
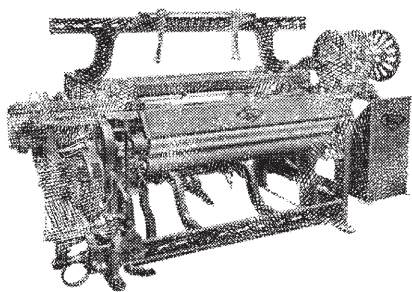
なぜっ
なぜいま
死ぬんじゃ
西川ー!!

困難な局面で
西川を失ったことは
鈴木商店にとって
大きな痛手であった

あああああ

第3章

日本綿花　パリ講和会議に随行、ビルマの精米工場買収、
鈴政式織機（現・エンシユウ）の初代社長に就任



大正八(一九一九)年
日本綿花の社長 喜多又蔵は
パリで開催される講和会議の
西園寺公望全権代表の
随行員に選ばれた



喜多はこのとき
四二歳の若さであった



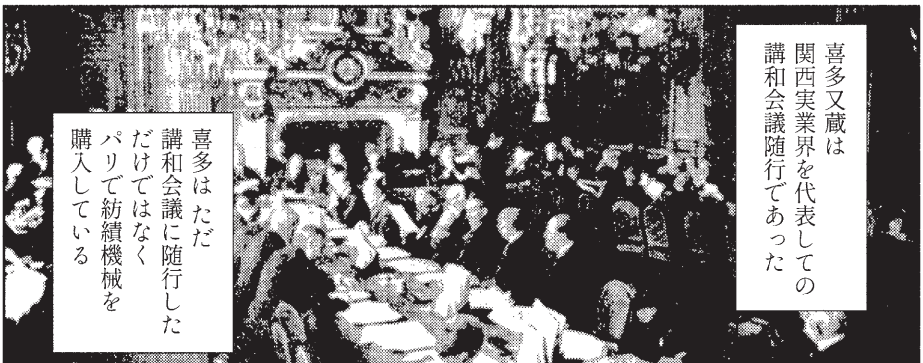
民間人からは
四人しかいません
この大戦中
喜多さんのおかげで
大英帝国の市場を
大いに奪い日本に膨大な
外貨をもたらした
からかな……

日本は産業面でも
世界に確固たる存在感を
示すようになり
アメリカ・イギリス・
フランス・イタリアに並ぶ
五大国の仲間入りを
果たした



この機会に有色人種の
地位を高め人種差別も
やめさせなければ
ならない
発言権を強め
言うべきことを
言わねばならん!

喜多又蔵は
関西実業界を代表しての
講和会議随行であった



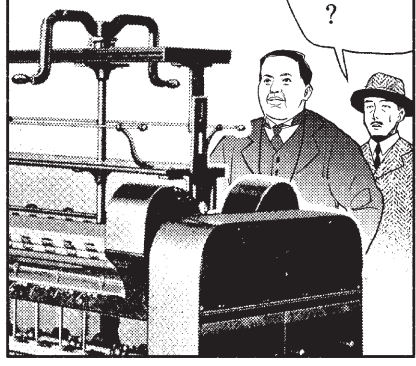
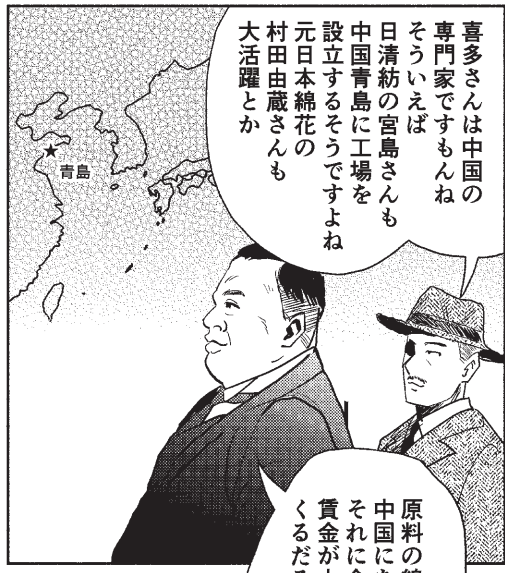
喜多はただ
講和会議に随行した
だけではなく
パリで紡績機械を
購入している

喜多社長
この機械はどこに
設置するんですか？

中国だ
今後日本の
紡績会社の
中国進出は
どんどん
進むぞ

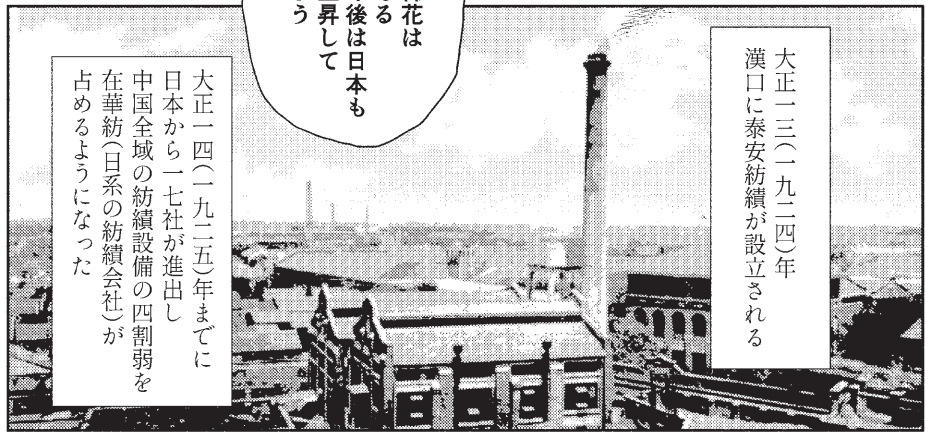
喜多さんは中国の
専門家ですもんね
そういえば
日清紡の宮島さんも
中国青島に工場を
設立するそうですね
元日本綿花の
村田由蔵さんも
大活躍とか

原料の棉花は
中国にある
それに今後は日本も
賃金が上昇して
くるだろう



大正一三(一九二四)年
漢口に泰安紡績が設立される

大正一四(一九二五)年までに
日本から一七社が進出し
中国全域の紡績設備の四割弱を
在華紡(日系の紡績会社)が
占めるようになった



また喜多は
ヨーロッパの
空気を体感し
それを事業に
活かした

ロシア革命以来
社会主義革命の
流れが各地に
吹き荒れて
いるな……

鈴木商店の事件は
他人事ではない
農村から都市に
人が流入しそこに
米価高騰が
追い打ちをかけた
日本の工業化、都市化を
象徴する事件だろう
……



人々の生活を安定させるためにはまず食料の供給が重要だということは葛城村(奈良)の親父に学んだ

ビルマ(現・ミャンマー)は世界有数の稲作地帯……

よしっ
ビルマの開拓者として
日本綿花の出番だ
やるぞ!

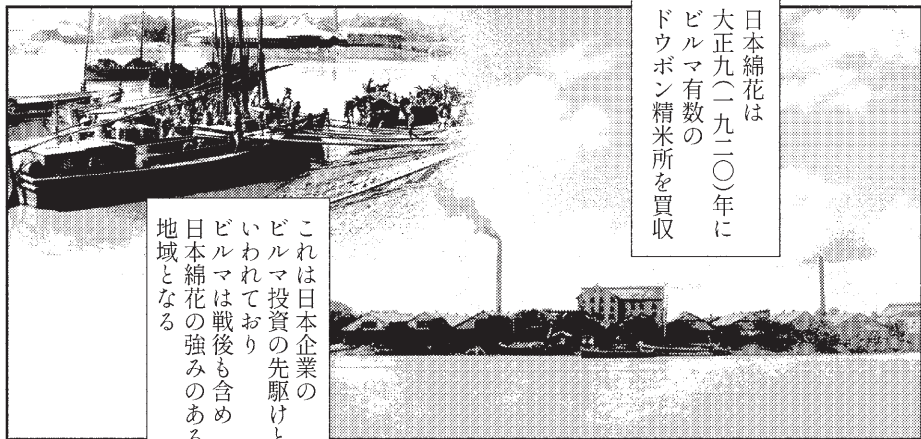
喜多は
ラングーン(現・ヤンゴン)
出張所長あてに
手紙をしたためた

日本人による
海外での精米事業は
まだひとつもない
ビルマで可能性を
探るように……と



日本綿花は
大正九(一九二〇)年に
ビルマ有数の
ドウボン精米所を買収

これは日本企業の
ビルマ投資の先駆けと
いわれており
ビルマは戦後も含め
日本綿花の強みのある
地域となる



日本綿花は
最多の駐在員を派遣し
ジャパンといえは
日本綿花のことを
指すといわれていた

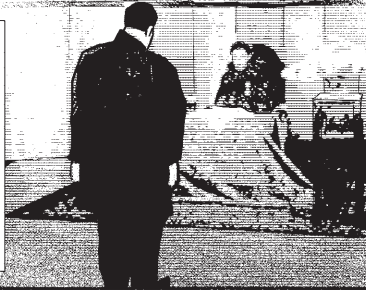
しかし
インパール作戦にて
現地招集され社員四五名が
戦死するという悲劇にも
見舞われた……



喜多又蔵は帰国後
天皇陛下に講和会議の
報告のために謁見

大正九(一九二〇)年
勲三等
旭日中綬章を賜る

関西の実業家かつ
この年齢での叙勲は
異例のことであった



五大国に名を連ねても
産業面はまだまだや
機械産業も発展させ
なければならん
世界的な需要に合った
大量生産に向く
織物の機械の製造も
考えたい

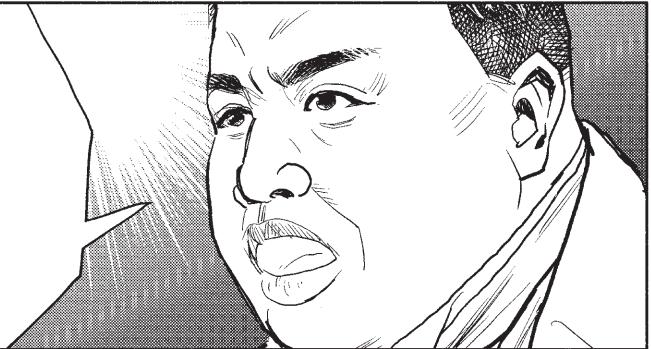
まだ日本でも
中国でも
足踏織機が主流
ですからね

静岡の浜松に
鈴木政次郎という
有能な技術者がおる
豊田織機と並ぶほど優秀で
より近代的な織機製造を
考えているらしい

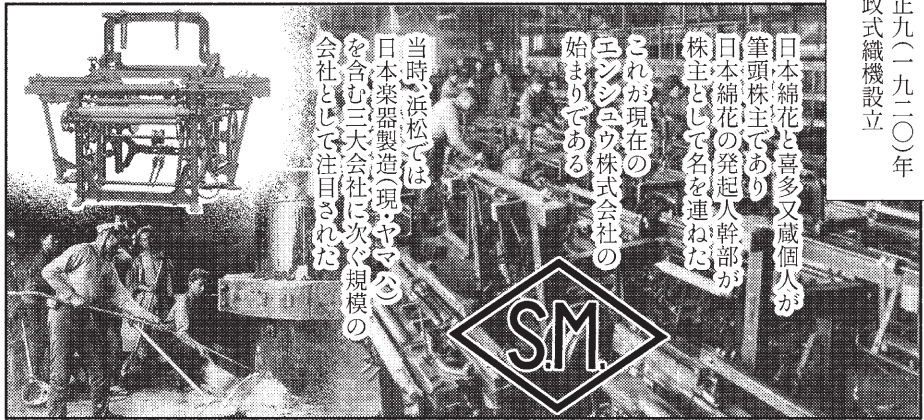
あの豊田と……



このままでは
世界の競争から
取り残されてしまう
日本が世界一の
紡績大国になるためには
革新的な織機の製造が
必要なんや！



大正九（一九二〇）年
鈴政式織機設立



日本綿花と喜多又蔵個人が筆頭株主であり日本綿花の発起人幹部が株主として名を連ねた

これが現在のエンシユウ株式会社の始まりである

当時、浜松では日本楽器製造（現ヤマハ）を含む三大会社に次ぐ規模の会社として注目された



しかし創業間もなく日本経済は大不況に突入経営は窮地に陥り

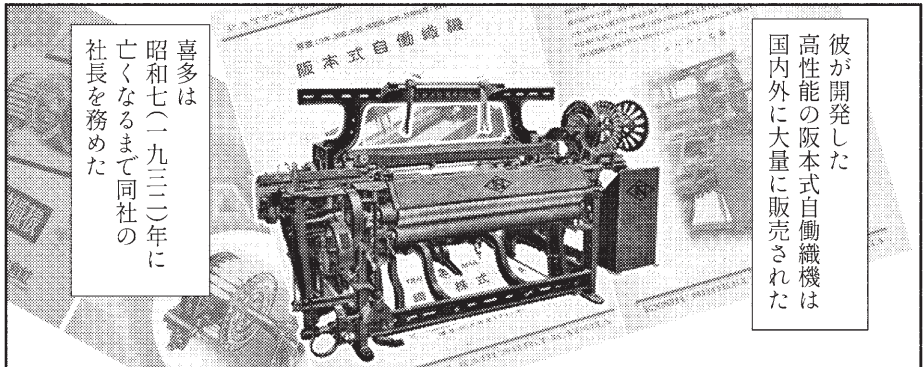
ともすれば閉鎖という事態さえ考えなければならぬ状況に追い込まれた

喜多は関西の繊維機械業界で評判の優秀な技術者であり同郷の阪本久五郎に会い鈴政式織機の再建を依頼した



彼が開発した高性能の阪本式自働織機は国内外に大量に販売された

喜多は昭和七（一九三二）年に亡くなるまで同社の社長を務めた



第4章

岩井商店

岩井勝次郎の訓示、日本橋梁の設立

訓示

一 幹部は各社員に対し時勢の變遷を指示し、競一的の方針を執り、進歩を遂げざるを得ず、

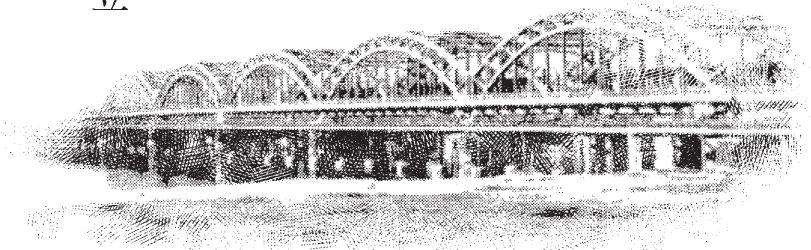
二 各者は自己の是非を相手方と相対的に考へ、

三 我實事求是、殊に人と資金との間の均衡に注ぐべきは勿論、然るに、協会に對する準備の怠り、

一 南支のむすぶ為の危険範囲は止むを得ず、利益の目的は、

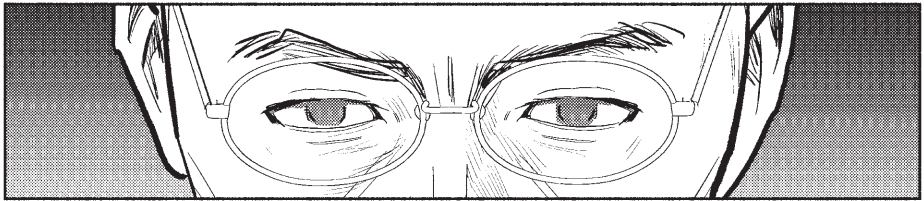
一 協会の利益は、

一 協会の利益は、



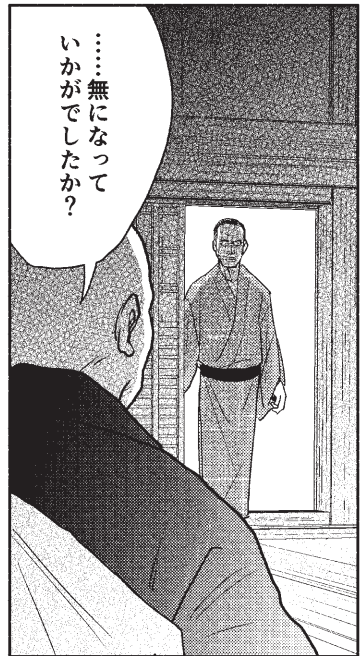


岩井勝次郎は
禅の精神を経営哲学に
採り入れたことでも
知られる



老師
今から言うことを
書き留めてもらいたい
第一次大戦が終結した
これから大きな荒波が
やってくる

岩井商店も大きくなり
社員をより統制してい
かなければなりません



……無になつて
いかがでしたか？

訓示

一、経営者各々の所望の経営方針を、概して、競り合つて、殊に、一、人・資本・商売の均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

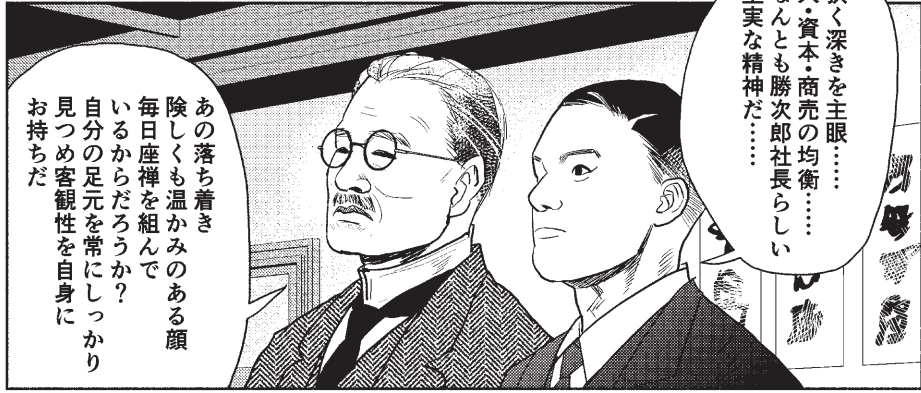
一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

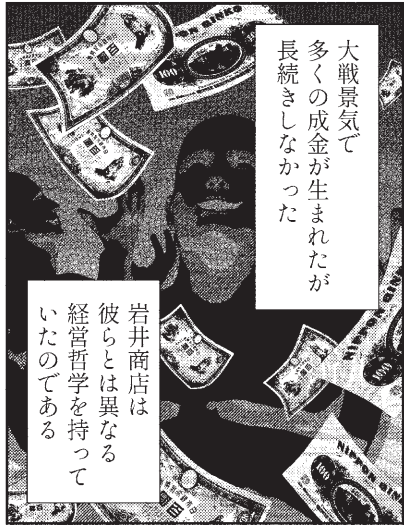
一、我々貿易商は、殊に人と資金と商売との均衡に注意するは勿論、恐慌の場合に對する準備を怠るべからず。

岩井勝次郎



狭く深きを主眼……
人・資本・商売の均衡……
なんとも勝次郎社長らしい
堅実な精神だ……

あの落ち着いた顔
険しくも温かみのある顔
毎日座禅を組んで
いるからだろうか？
自分の足元を常にしっかり
見詰め客観性を自身に
お持ちだ



大戦景気で
多くの成金が生まれたが
長続きしなかった

岩井商店は
彼らとは異なる
経営哲学を持って
いたのである



勝次郎さんは
貿易屋の秘訣は先方を
第一に考えることだと
なるべく先方に儲けさせて
そして自分の方も取る
「与えて取る」と説いて
おりました
顧客第一主義ですね

そういえば最近よく本邸に来られる方はどなたですか？

関場茂樹という技師だよ
岩井商店の鉄の納入先に
日本橋梁建設合資会社
というのがあってそこの
共同経営者だな

東京帝国大学卒業後に
米国の名門橋梁会社で
五年間働いたエリート
らしい

自分の力をもっと活かし
世界に誇れる橋梁や鉄塔を
作って輸入品を駆逐
したいんです
工場を拡張する資金を
援助していただけませんか

大戦で鉄の供給が
不安定で
鉄鋼輸入の老舗である
岩井商店のお力を
お借りしたい

……輸入品の駆逐
私の目指すところと同じだ
この国はもっと力を
つけなければならぬ
まだ先進国とは名ばかり
だと

今後
電気が普及すれば
もっと鉄塔が必要になる
鉄道網が広がれば広がる
ほど橋が必要になり

自動車も増えれば高強度な
橋が必要となる……

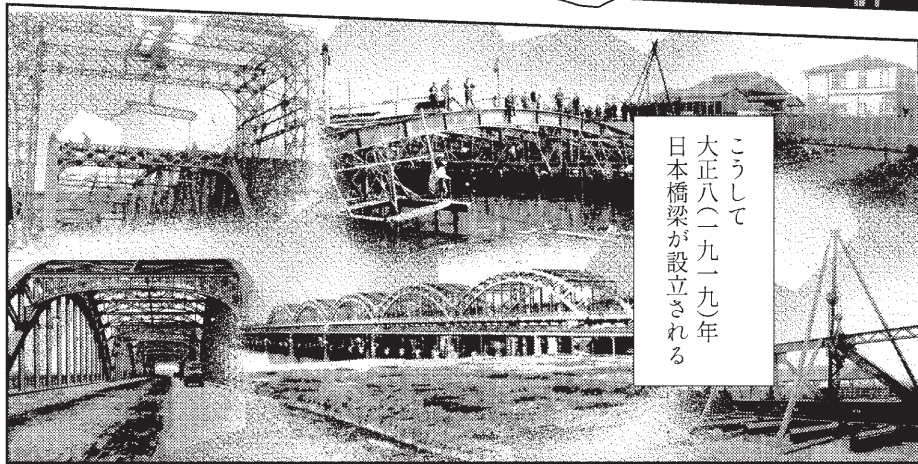
まさにまさに私が
考えるところと同じです！
では……

カッ
タッ

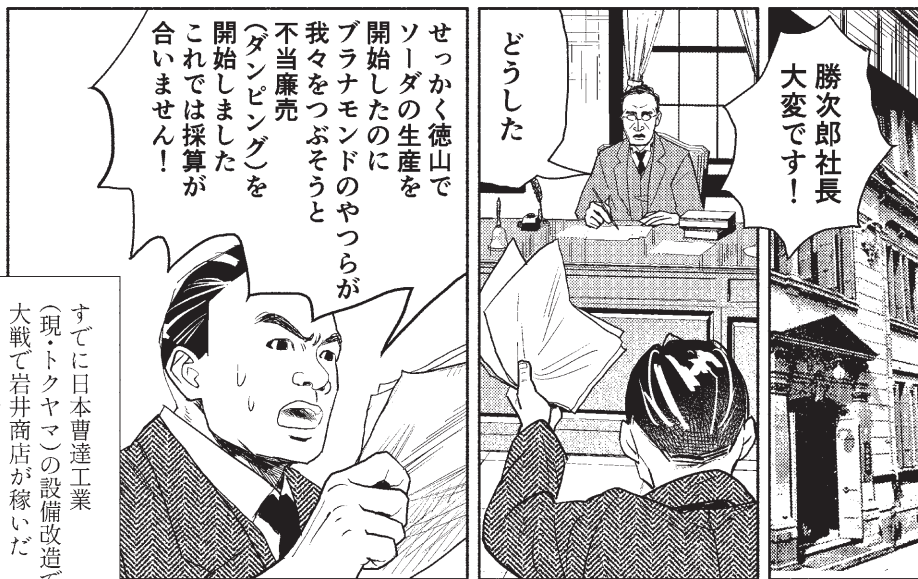


うむ任せておけ
資金だけではなく
岩井商店傘下で桜島にある
大阪鉄板の技師を派遣しよう
八幡製鉄所からも技師を
派遣してもらおう

私はこれまで
セルロイド・ソーダ・鉄板と
国が必要なものを作ってきた
国も聞いてくれるだろう



こうして
大正八（一九一九）年
日本橋梁が設立される

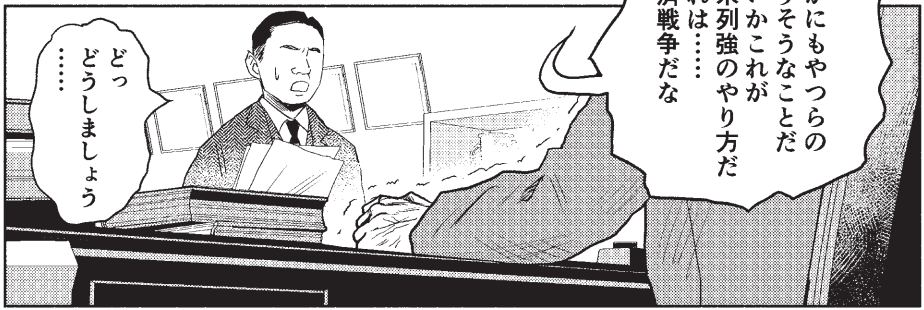


勝次郎社長
大変です！

どうした

せっかく徳山で
ソーダの生産を
開始したのに
ブラナモンドのやつらが
我々をつぶそうと
不当廉売
(ダンピング)を
開始しました
これでは採算が
合いません！

すでに日本曹達工業
(現・トクヤマ)の設備改造で
大戦で岩井商店が稼いだ
利益の半分を投入していた



どっ
どっ
どうしましょう
……

いかにもやつらの
やりそうなことだ
いいかこれが
欧米列強のやり方だ
これは……
経済戦争だな

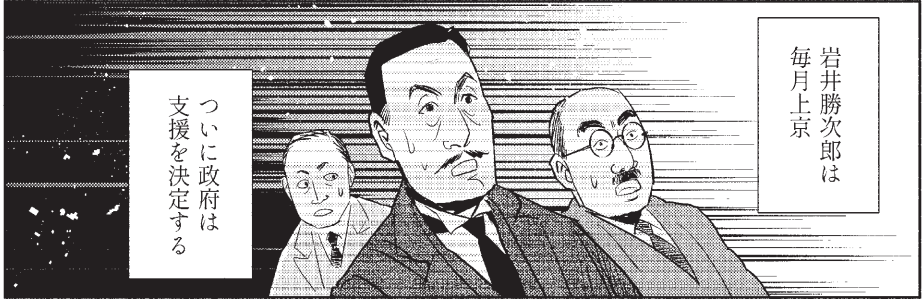


東京に
行くぞ!!



外国は日本が
産業発展すると
困るのです!
だから工業化に必要な
ソーダの自給を妨害
している

原料塩に対する助成と
不当廉売対策として
輸入関税を!



岩井勝次郎は
毎月上京

ついに政府は
支援を決定する

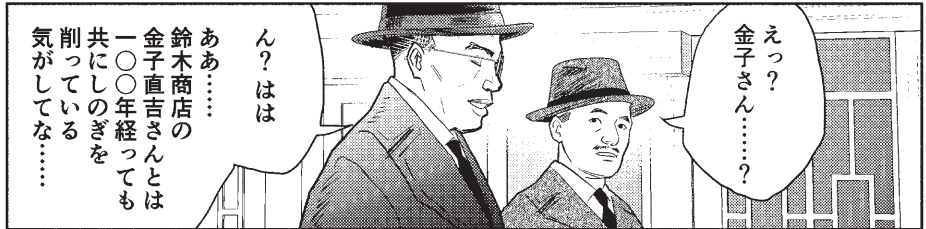


待っていますぞ
金子さん……



社長
そもそも日本は
欧米と違い
ソーダの需要がまだ
少ないのです
我々は時期尚早なの
かもしれません

いや大丈夫だ
今に日本のソーダ
需要は伸びる



えっ？
金子さん……？

ん？ はは

ああ……
鈴木商店の
金子直吉さんとは
一〇〇年経っても
共にしのぎを
削っている
気がしてな……

※ 昭和四三(一九六八)年、岩井産業と鈴木系の日商は合併して日商岩井となる。



そうか？
……だが
国を思う気持ちは
一緒だがなあ



ええっ？
「猛烈」の金子直吉さんと
「堅実」の岩井勝次郎は
正反対ですよ



勝次郎社長
大戦景気が終わって
セルロイドも需要が
急減しています
いっぽう国内にも
セルロイド工場が増えて
粗悪品を廉価で販売する
工場もあるようです

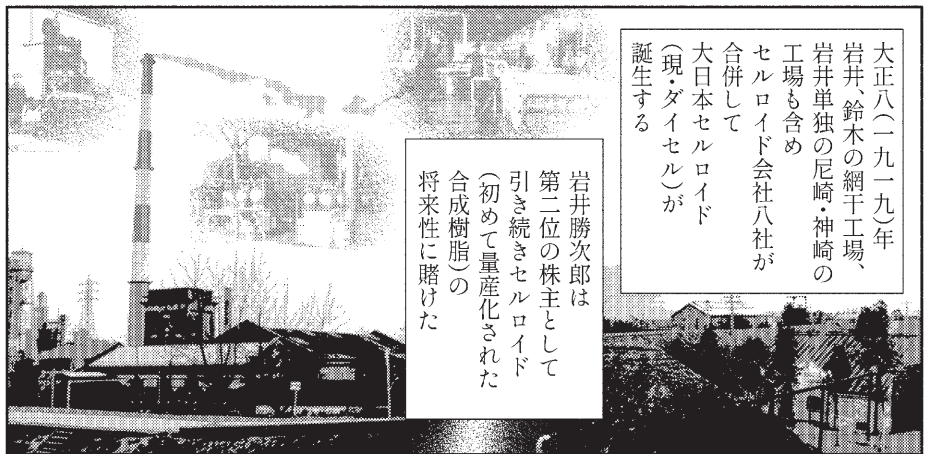
それは
台湾總督府専売局が
黙っていないだろう
台湾の楠木は大事な資源
大切に使わなければ

それで
皆で纏まって協力
するようにとの
提案です



分かった
これから大不況が
やってくる
いち企業ばかりのことを
考えても仕方がない

皆で協力しよう
じゃないか



大正八（一九一九）年
岩井、鈴木の綱干工場、
岩井単独の尼崎・神崎の
工場も含め
セルロイド会社八社が
合併して
大日本セルロイド
（現・ダイセル）が
誕生する

岩井勝次郎は
第二位の株主として
引き続きセルロイド
（初めて量産化された
合成樹脂）の
将来性に賭けた

第5章

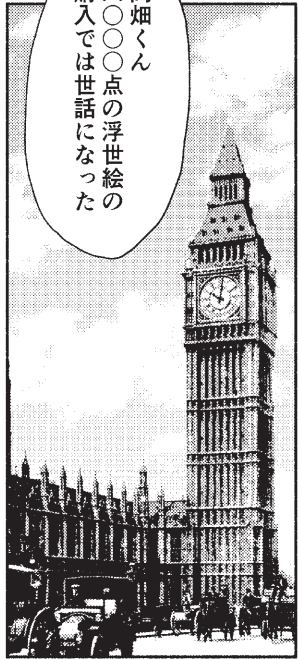
ロンドンにてKライン設立、カイゼル高畑とゴルフ



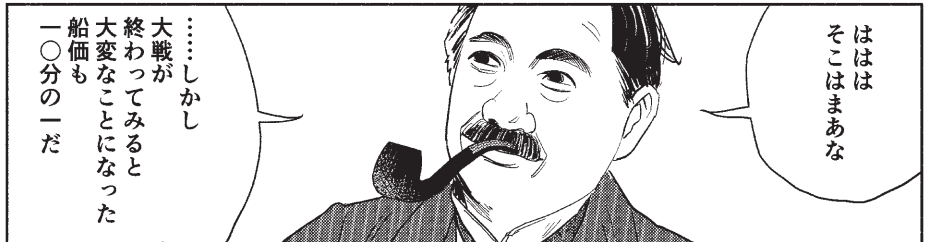


よくドイツに見つからずに輸送できましたね
美術商の山中商会も驚いていたでしょう

おかげで江戸時代に日本から流出した名画を取り戻すことができた
あの大金を立て替えられるのは鈴木商店くらいしかないからのう



高畑くん
八〇〇〇点の浮世絵の購入では世話になった



ははは
そこはまあな

……しかし
大戦が
終わってみると
大変なことになった
船価も
一〇分の一だ



皆が一致団結して
難局を乗り越えるため
金子さんが
松方さんの川崎造船所と
鈴木商店の帝国汽船など
九社の船を纏めて
国際汽船を設立しました

しかも
政府にも出資させ
金子さん自ら会長に
就任したらしいです
船舶保有量で
日本郵船・大阪商船に次ぐ
第三位ですって

金子さんは
船鉄交換契約を
纏めた立役者だ
この救世主の意見は
誰もが従うだろう
発想と人を巻き込む力
今の日本で金子さんに
太刀打ちできる人は
おるまい



ここで
さらに私から
提案があります

!



日本近海で運航したら
備船料は更に下がります
余剰船舶をこの大西洋で
共同運航するので
川崎造船所、川崎汽船、
この国際汽船の
三社合同で……
いかがでしょうか？



おう
さすがは
カイゼル高畑だ！

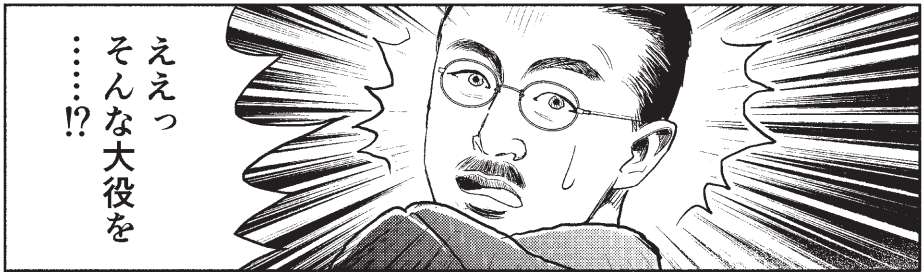
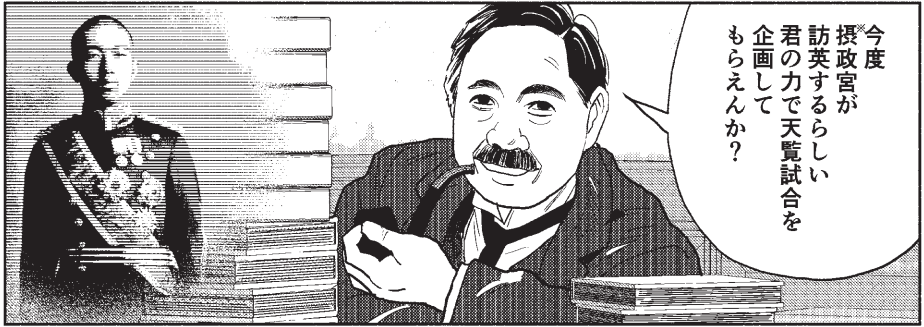
社名は三社の
頭文字からとって
Kラインとしよう
オペレーションの責任者は
高畑くん君がやりたまえ

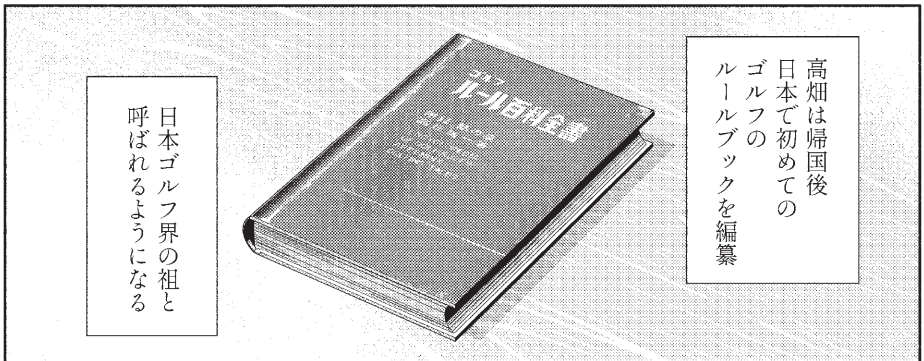
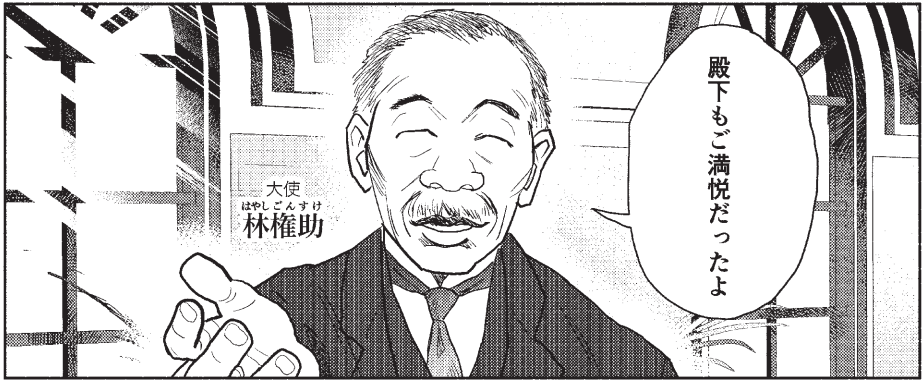


お任せください









第6章

日本綿花

喜多又蔵の奇策と人造絹糸を巡る戦い



戦後不況は
紡績業界にも
波及していた

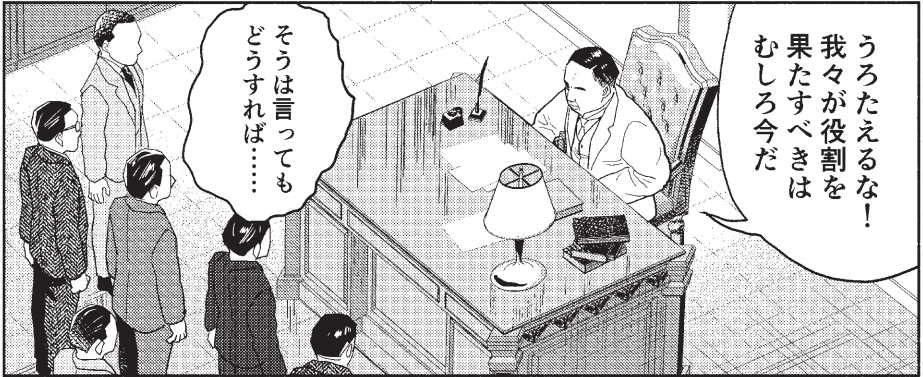
大正九(一九二〇)年
三月一日

喜多社長
大変です！
綿系が大暴落して
取引所は機能不全に
陥りました



うろたえるな！
我々が役割を
果たすべきは
むしろ今だ

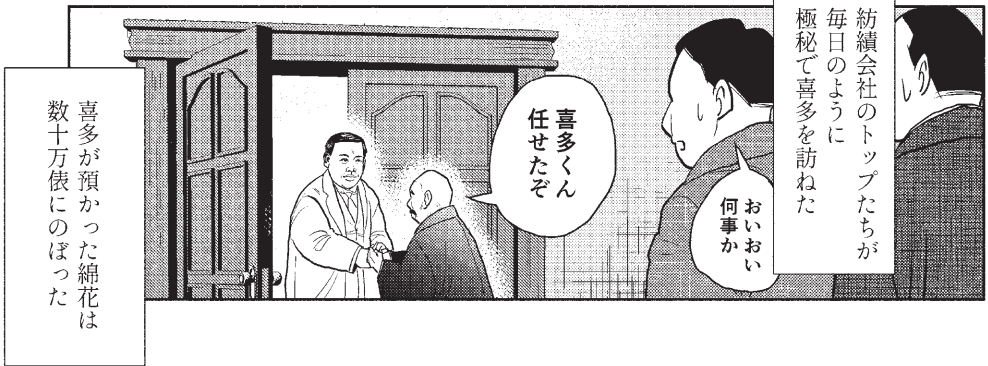
そうは言っても
どうすれば……



東洋綿花の
児玉一造さんと
会おう
他の紡績会社の
幹部とも会う
業界を動かすんや

えっ
あのライバルの
児玉さん!!





そして
その予測は的中した



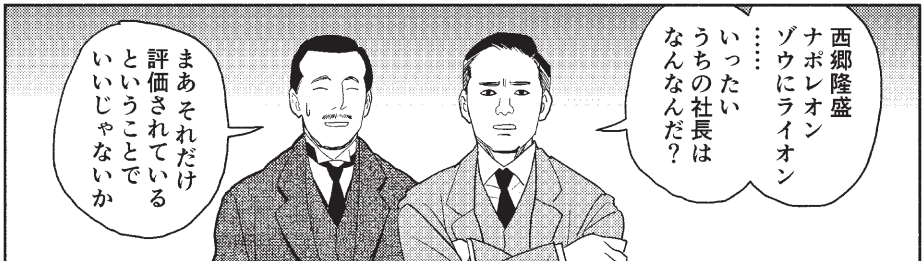
ニューヨーク
綿花市場も大暴落し
数千万ドルの差益が
紡績会社にもたらされた

おお！喜多又蔵
やりよった！



ゾウのような
大きな体で細く優しい眼
そして西郷さん
のような巨漢と居眠り癖

※しかしいざとなると
ライオンのように
覇気をはく綿業界の
ライオンじゃ！

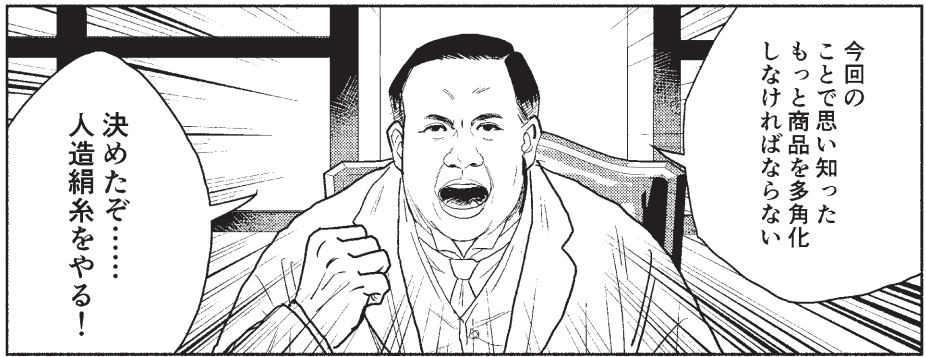


まあそれだけ
評価されている
というだけで
いいじゃないか

西郷隆盛
ナポレオン
ゾウにライオン
……
いったい
うちの社長は
なんなんだ？

※西郷隆盛は江戸城無血開城の際、大広間で居眠りをしていたという。

※喜多の頭、顔はライオンに似ていると言われた。



その頃バリでは……

上島くん
君は日本綿花の
喜多社長の支援を受けて
フランスの技術で
人絹を製造しようと
しているのか
実は私も同じような
ことを考えている

ただ日本ではまだ
需要が少ない
ここで競合すれば
共倒れしてしまう
ここはひとつ
提携しようじゃ
ないか？

そうですね
喜多社長とも
相談して
みますが
合意されると
思います

後に15大財閥に数えられた
日窒コンツェルン
の野口遵

野口 遵



高畑により
野口遵も招かれていた

ここで日本の人絹
戦後の化学繊維産業の
趨勢を左右する
歴史的なやり取りが
行われる

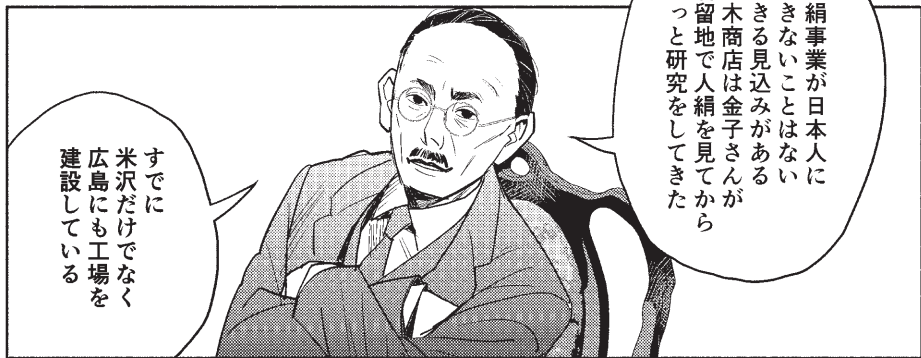


欧米視察中の
帝人の久村清太が
ロンドンの高畑邸を
訪問していた



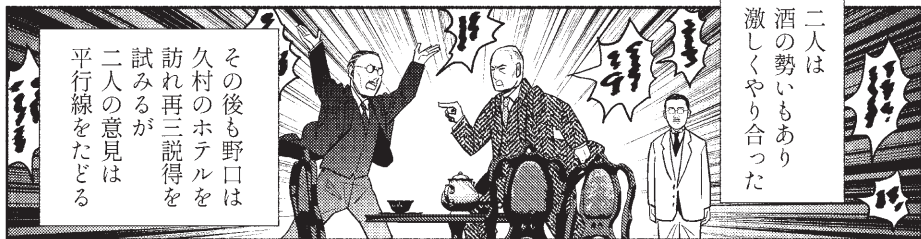
私は日本で人絹工業を
開始するつもりだ
久村さん
君も人絹をやるなら、
後で血の出るような
競争をするより
初めから合同して
やろうじゃないか？

あの仕事は
日本人にはできない
西洋の会社の技術を買収
するより方法はない



人絹事業が日本人に
できないことはない
できる見込みがある
鈴木商店は金子さんが
居留地で人絹を見てから
ずっと研究をしてきた

すでに
米沢だけでなく
広島にも工場を
建設している

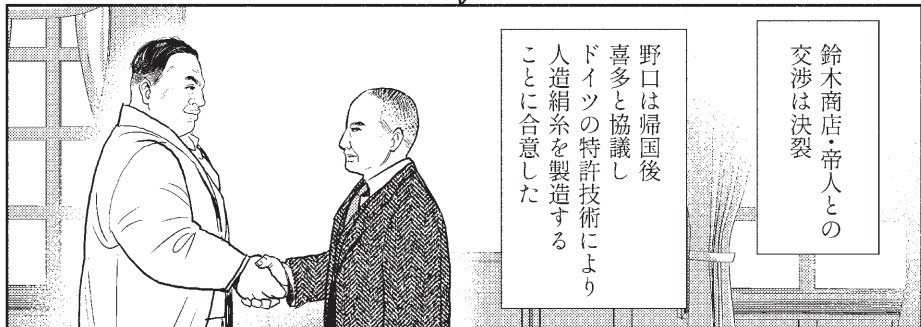


二人は
酒の勢いもあり
激しくやり合った

その後も野口は
久村のホテルを
訪れ再三説得を
試みるが
二人の意見は
平行線をたどる



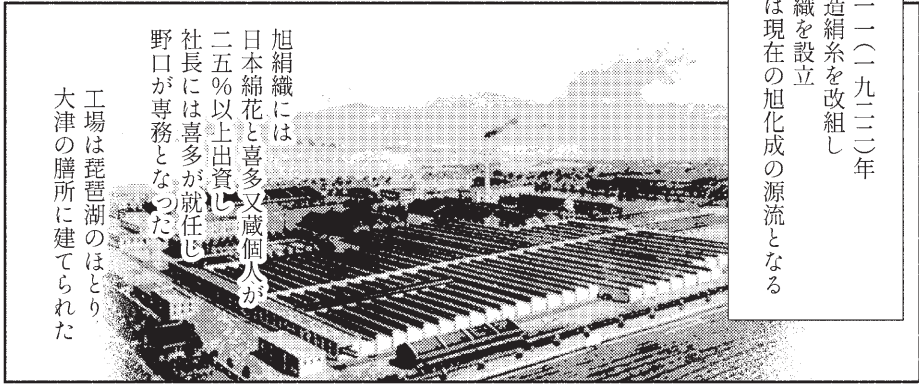
ありや氣違いだ!



鈴木商店・帝人との
交渉は決裂

野口は帰国後
喜多と協議し
ドイツの特許技術により
人造絹糸を製造する
ことに合意した

大正一（一九二二）年
旭人造絹糸を改組し
旭絹織を設立
同社は現在の旭化成の源流となる



旭絹織には
日本綿花と喜多又蔵個人が
二五%以上出資し
社長には喜多が就任し
野口が専務となった

工場は琵琶湖のほとり
大津の膳所に建てられた

その四年後の
大正一五（一九二六）年
三井物産は
英国の技術を導入し
東洋レーヨン
（現・東レ）を設立
こちらも工場は
大津に建てられる

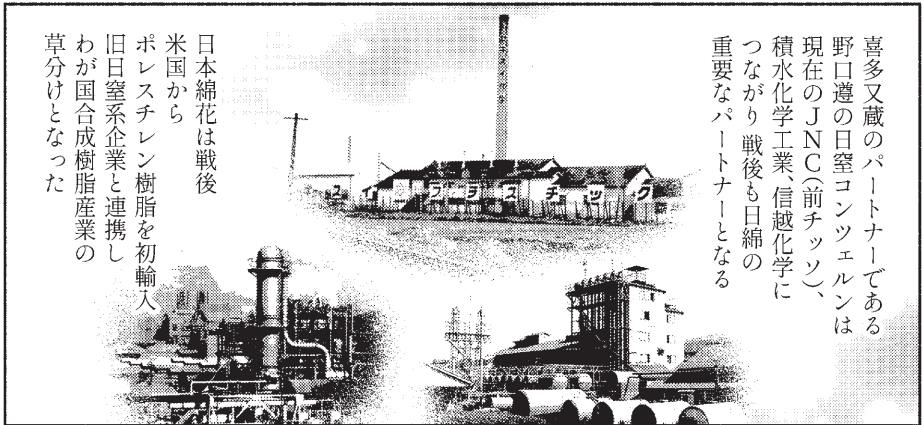


しかし
人絹の量産化までは
もう少し時間を要する
ことになる

この人絹の製造には
工業塩を原料とする
大量のソーダが必要であった



喜多又蔵のパートナーである
野口遵の日窒コンツェルンは
現在のJNC（前チッソ）、
積水化学工業、信越化学に
つながり戦後も日綿の
重要なパートナーとなる



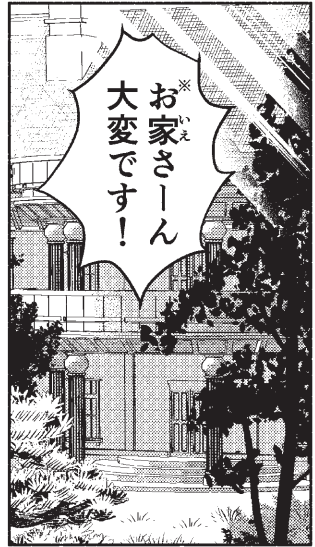
日本綿花は戦後
米国から
ポレスチレン樹脂を初輸入
旧日窒系企業と連携し
わが国合成樹脂産業の
草分けとなった

大正九（一九二〇）年
神戸では鈴木商店が
海岸通りに新たな本店を
構えることになる

さすがは
鈴木商店
立派な装飾や

この装飾
英国皇太子来日に
合わせてのもの
らしい

ロンドンでは
高畑さんが大活躍
らしいぞ



※ 主人の母＝鈴木よねのこと



※ 現・神戸市立神港橋高校

おばあ様も
今後は女子も
実業に携るべきだと
張り切っているのよ

おお
素晴らしい！
女性が活躍する
日本の
未来は明るい

そう未来……
次世代を担う
優秀な……
若者おおお
おおうお

直どん
どないしたん？
ちよっと
落ち着いて……

はあっ
すいません……
それがですね……

ロンドンにて

高畑君
君は優秀だ
どうだ
私の娘と結婚
しないか？

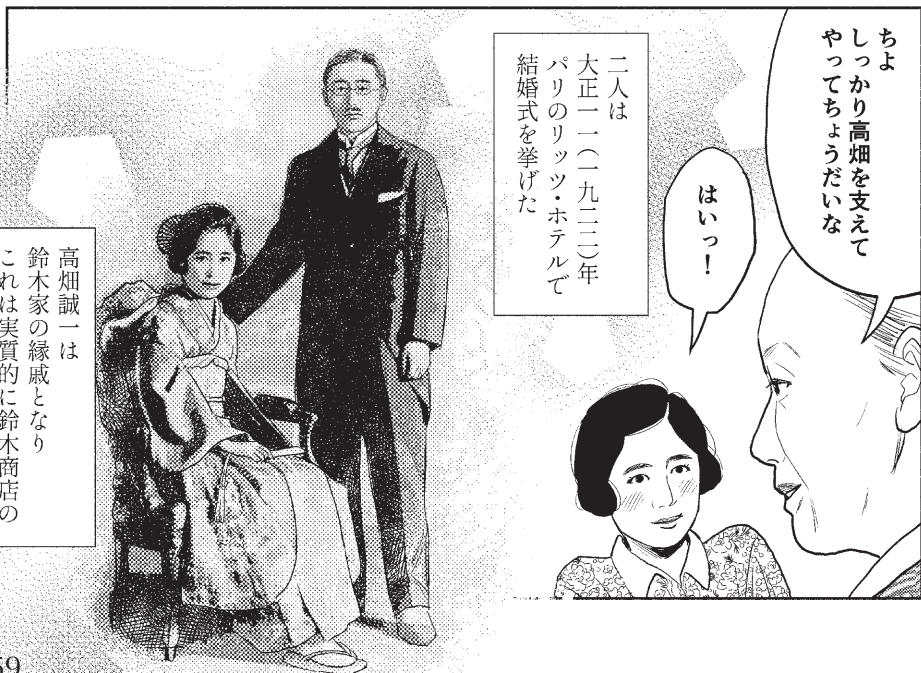
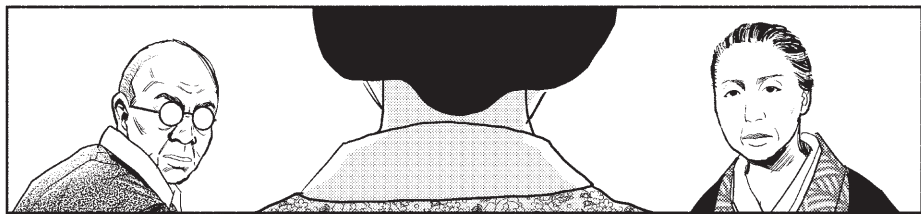
うっそれは……
松方家の一員になると
いうことです
光栄ですが
金子さんとも相談
しなければ……

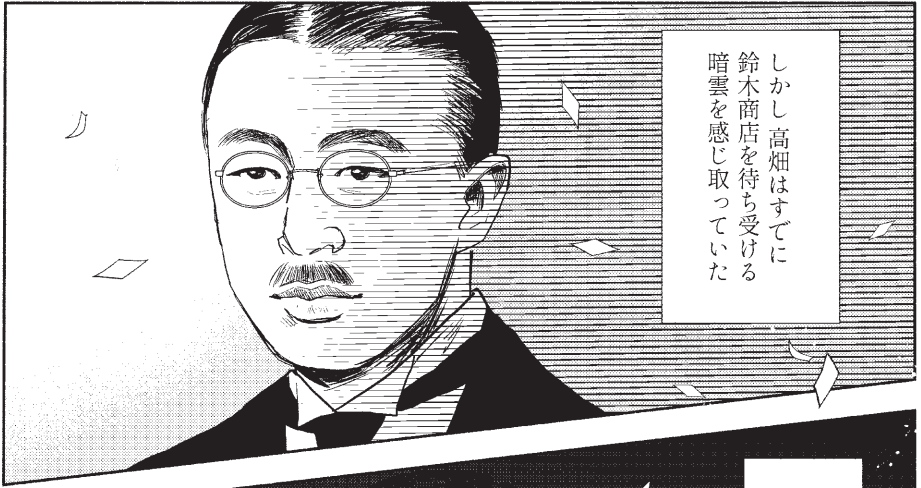
色よい返事を
期待しているよ

とまあ
こんな次第で……

このままでは高畑が
松方さんに取られてしまいます
今後の鈴木商店を任せられるのは
高畑しかありません！

それはいけませんなあ





しかし高畑はすでに
鈴木商店を待ち受ける
暗雲を感じ取っていた

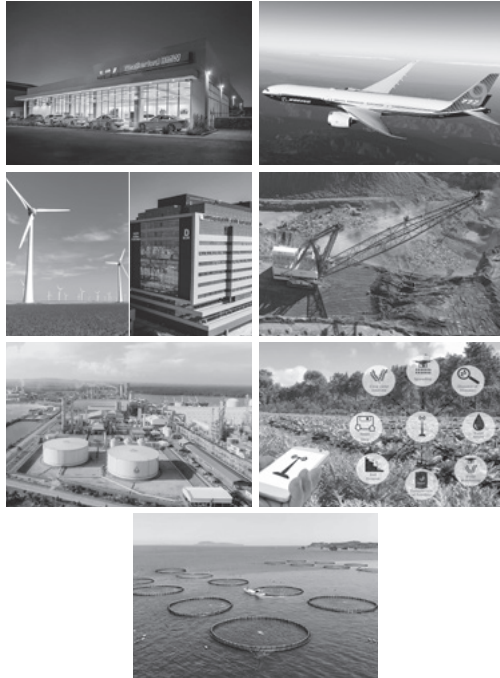


第一次大戦の終了は
大戦景気の終了を意味した

世界経済は後退局面に入り
日本の前途には長期不況と
大事件が待ち構えていた

しかし双日の源流三社の
起業家精神、開拓者精神は
どんな不遇にあっても
衰えることはなかった――

双日は現在、全世界に400以上のグループ会社を有し、自動車・航空産業・交通プロジェクト、インフラ・ヘルスケア、金属・資源・リサイクル、化学、生活産業・アグリビジネス、リテール・コンシューマーサービスの7本部体制で、広範・多岐にわたる製品の製造・販売や輸出入、サービスの提供、各種事業投資などをグローバルに展開しています。



Hassojitz

総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち
～第5巻 暗雲～

2023年9月 第1刷発行

発行 双日株式会社

〒100-8691

東京都千代田区内幸町2-1-1

画 すずきんかりお

関連サイト https://www.sojitz.com/special_site/pioneer/

無断複写・複製・転載を禁じます

本マンガ制作にあたっては、本巻に登場する多くの取引先企業、鈴木商店記念館、大阪企業家ミュージアムの皆様にご協力いただきました。

厚くお礼申し上げます。



New way, New value

WEBSITEで
公開中



本マンガは、双日のWebサイトに第1巻より順次掲載
https://www.sojitz.com/special_site/pioneer/